

人間は生き通しが大切である。生き通しとは、死んでから後、人が拜んでくれるようになることである。

……「天地は語る」第六十八条……

### 解説

金光大神様は「生きている時に悪事を重ねたり、人倫にもとる生き方をすると、死んでからでも、魂は神のおとがめを受ける」と仰せられています。

それに対して「かわいい（※可哀そう）と思う心が神心」と、み教え下されてあるように「人の難儀を神様に祈り導き助けることができ、人から拜んでもらえるようになれば、神様は、この上なくお喜び下され、死後も魂は神様の慈しみを享けつづけることができる」のであります。そのことを金光大神様は「生き通し」と言われ、そのような生き方を私達に願われているのであります。